

令和4年度平城公民館事業一覧

番号	事業名（指標）	新規・継続	目標	
1	こども茶道教室	継続	伝統・文化	
2	こども生花教室	継続	伝統・文化	
3	英会話教室	継続	学び	
4	ハーモニカ教室	継続	学び	
5	健康づくり教室「ヨガ」「体操」「お灸体験」「ピラティス」	継続	健康	
6	スマホ講座	継続	学び	
7	花いっぱい運動	継続	地域・学校	
8	ハンドメイド教室「絵手紙」「絵手紙体験（新規）」	継続	学び	
9	ハンドメイド教室「ハーバリウム」	継続	学び	
10	アーチェリー体験	継続	地域・学校	
11	平城貝塚再発見講座（生涯学習課文化振興係共催）	継続	伝統・文化	
12	とろりや講習会 R4年度中止	継続	伝統・文化	
13	口説き講習会 R4年度中止	継続	伝統・文化	
14	グラウンドゴルフ・ミニバレーボール大会 ミニバレー中止	継続	地域・学校	
15	健康ウォーク ミニ四国巡り（御荘B&G海洋クラブ共催）	継続	伝統・文化	
16	消火避難訓練・心肺蘇生講習	継続	学び	
17	人権・同和教育学習会	継続	学び	
18	地域づくり出前講座	継続	地域・学校	
19	デジタルミュージック講座	継続	学び	
20	親子料理教室	継続	地域・学校	
21	平城公民館成果発表会	継続	地域・学校	
22	御荘中スパルタスロンお接待 お接待中止	継続	地域・学校	
23	出前ボルダリング体験教室（菊川・平城・赤水・中浦合同事業）	新規	地域・学校	
24	地域おこし協力隊コラボ事業 R4年度中止	新規	地域・学校	
25	こども工作教室体験会・おやつ交流	新規	地域・学校	

【集計表】

継続事業	新規事業	休止	合計
22	3	0	25

【目標別集計表】

学びの拠点	健康づくりの場	伝統・文化	地域・学校協働	合計
				
8	1	6	10	25

公民館事業マネジメントシート

NO.1

1	事業名	こども茶道教室				
2	開始年度					
3	対象	小・中学生				
4	開催時期	4月～3月 毎月2回（土曜日）開催 10:00～11:30				
5	事業の目的（意図）	伝統文化の継承と体験を目的に、楽しい雰囲気の中で礼儀作法、お茶の心を学びます。				
6	事業内容（手段）	受講料250円（1回） 講師 竹平照子さん 講師の指導を受け、礼儀作法やお点前を学びます。年23回開催。 令和5年2月頃、保護者やALTを招待してお茶会をします。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年（見込み）
		事業費	124千円	83千円	62千円	80千円
		募集定員	－人	10人	10人	15人
		応募人数	13人	10人	10人	12人
		参加人数（延べ）	180人	133人	73人	75人
	特記事項	新型コロナウイルス感染拡大防止や講師の都合等のため、4回事業を中止しました。H31年度-21回、R2年度-17回、R3年度-11回、R4年度-19回予定				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	子ども茶道教室を充実するため、講師から大人が参加できる抹茶カフェ実施の希望があります。				
9	改善案	子どもたちの日頃の成果を披露する町文化祭は今年度も中止となり、保護者から要望の高い「お茶会」は小学校での感染状況を考慮して中止しました。来年度は「お茶会」を7月頃に実施します。抹茶カフェは関係者等と十分協議して検討します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

主事の企画により、子どもたちの成果発表の場として「お茶会」を開催して保護者から好評を得ています。茶道を通して、その伝統的な所作を学ぶことで、おもてなしの精神を育むだけでなく、すべてのものを大切に作る心の醸成が図られ、教育効果も高いと思われるので、引き続き実施していきます。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.2

1	事業名	こども生花教室				
2	開始年度					
3	対象	小・中学生				
4	開催時期	4月～3月 毎月2回（土曜日）開催 13:30～14:30				
5	事業の目的（意図）	伝統文化の継承と体験を目的に、季節の花を使い、生花を基礎から楽しく学びます。				
6	事業内容（手段）	受講料350円（1回）※正月用1,000円、押し花等500円など、個人負担の増額あり。講師 清家初美さん 講師の指導を受け、花の生け方の基礎を学びます。年23回開催。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年（見込み）
		事業費	168千円	179千円	93千円	105千円
		募集定員	－人	10人	10人	10人
		応募人数	9人	12人	5人	4人
		参加人数（延べ）	145人	179人	67人	42人
	特記事項	参加者がいない時や講師の都合等で2回事業を中止しました。 H31年度-21回、R2年度-19回、R3年度-18回、R4年度-19回予定				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	今年度も受講生は少ないです。 日程によっては参加者が1名のときがありました。				
9	改善案	講師と相談して親子生花体験教室を5月に実施しましたが、受講生は増えませんでした。講師と相談して来年度の募集範囲を、平城小学校と他に、一本松小学校・城辺小学校・柏小学校へ広げます。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

令和3年度に続き令和4年度も参加者が減少しておりますが、生花を通して得られる教育効果は高いと考えますので、引き続きPRに努めて参加者の拡大を図ります。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.3

1	事業名	英会話教室				
2	開始年度					
3	対象	一般（高校生以上）				
4	開催時期	4月～3月 毎月2回（第2・第4水曜日・祝日は休み）夜間開催				
5	事業の目的（意図）	英語指導助手の先生を講師に、本物の英語に触れながら初歩的な日常英会話を楽しく学ぶ。				
6	事業内容（手段）	受講料 無料 講師 岡澤エディさん・スティーブン先生（4～7月に計5回） 従来は、ALTの指導により日常英会話を学んでいましたが、後任のALTが愛南町になれるまで、町内外国人の指導で日常英会話を学びます。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年（見込み）
		事業費	60千円	54千円	45千円	54千円
		募集定員	－人	－人	－人	－人
		応募人数	19人	20人	16人	人
		参加人数（延べ）	163人	147人	116人	130人
	特記事項	新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、3回事業を中止しました。 H31-20回（ALTアンソニー先生）、R2年度-18回（ALTアンソニー先生） R3年度-15回（岡澤エディさん）6月～3月、R4年度-17回予定				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	ALTに講師を受けてもらうことが難しい状況です。 夜間（19:30～20:30）の英会話教室の指導は、日中の学校での授業に負担となるという理由で学校教育課からも指摘されました。				
9	改善案	英会話教室の指導は、学校の授業のような準備は不要で、世間話をするような日常英会話を外国人の生の発音を聞きいて楽しむだけの簡単なものだと説明して理解してもらう。学校長、学校教育課長、担当職員へも説明する。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

新しい講師が就任する際、事業の方向性等の確認などの意思疎通が難しい部分もありますが、受講者の協力により順調に開催されています。人気の高い事業であるため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.4

1	事業名	ハーモニカ教室				
2	開始年度					
3	対象	一般				
4	開催時期	毎月1回（第2水曜日）13:00～15:00				
5	事業の目的（意図）	人の息づかいがそのまま音になる、誰もが一度は吹いたことがあるハーモニカを楽しく演奏することを目的とします。				
6	事業内容（手段）	受講料 無料（ハーモニカなどは各自が持参） 講師 田中千鶴さん（愛南町）R4.5月～ 講師の指導のもと、ハーモニカで演奏します。年12回実施 年1回、県ハーモニカ協会が主催するコンサートの参加は中止しました。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年（見込み）
		事業費	190千円	99千円	82千円	63千円
		実施回数	11回	6回	5回	10回
		応募人数	11人	9人	9人	9人
		参加人数（延べ）	89人	45人	33人	70人
	特記事項	新型コロナウイルス感染拡大防止や講師の都合等で2回事業を中止しました。3月25日ハーモニカコンサートに参加します（宇和島南予化会館）。伊予市の玉井千恵さんから町内の田中千鶴さんに指導者を交代しました。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	固定メンバーでの事業となっています。				
9	改善案	受講生は自主的な練習を週1回行っています。ハーモニカ演奏に興味を持った高齢者の自宅へメンバーが赴き、基礎を教える活動ができています。令和5年2月予定の平城公民館成果発表会で新規メンバーの獲得を目指します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

教室のすべてを公民館事業として行っていましたが、昨年度の改善案のとおり、令和3年度から主な活動を自主活動へ移行し、事業の実態にあわせて公民館事業の回数を調整しました。特に問題なく実施しているため、この方法で継続します。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.5

1	事業名	健康づくり教室「ヨガ」「体操」「お灸体験」「ピラティス」				
2	開始年度	令和2年度（令和3年度～お灸体験、ピラティス）				
3	対象	一般				
4	開催時期	毎月各1回 夜間（お灸体験5月～10月）				
5	事業の目的（意図）	新型コロナウイルス禍のなか家にいる時間が増え、これまで以上に健康づくりへの関心は高まっています。誰でも家庭で簡単に実践できるよう体験して、ストレス解消と免疫力のアップを行い、地域住民の健康増進を図ります。ヨガ、体操、お灸、ピラティスを開催します。				
6	事業内容（手段）	ヨガ：腹式呼吸を行い、リラックスして自律神経のバランスを整える。講師 野田恵子さん（ヨガインストラクター）／お灸：昔から民間で気軽に利用した治療法のお灸を体験し、血行促進や不調改善に役立てる。講師 寺阪嘉峰さん（福浦の鍼灸師）／ピラティス：胸式呼吸にあわせて動かさ、体幹を鍛えて姿勢の改善を目指す。講師 吉良恭子さん（宿毛市のインストラクター）				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年（見込み）
		事業費	千円	44千円	151千円	257千円
		募集定員	人	各回 18人	ヨガ体操18人・お灸12人・ピラティス16人	ヨガ体操18人・お灸12人・ピラティス16人
		応募人数	人	人	人	人
		参加人数（延べ）	人	52人	194人	320人
	特記事項	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月のピラティスは中止し、8月のロコモ体操は参加希望者がいないため中止しました。 R2-5回、R3-16回、R4-ヨガ11回-144人／お灸6回-44人／ピラティス11回-132人予定				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	宿毛市の講師は、町内在住者限定の公民館利用期間中は平城公民館で指導できません。				
9	改善案	講師の協力により、zoomを使ったオンラインレッスンを実施しました。LINE公式アカウントを利用した各種講座の申込が増え、参加者の利便性が図れました。アンケートの意見から、次年度は小学3年生以上対象の親子ヨガを1回実施します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

参加者が多く人気の事業となっています。新型コロナの影響を受ける中、主事の企画により、公民館として初となるリモートによる事業を開催しました。また、令和4年度においてタブレット端末の購入を行っており、公民館事業の情報化及び効率化を図って、参加者のニーズに対応できる事業の展開を行っていきます。

※審議委員会終了後の館長の意見

公民館事業マネジメントシート

NO.6

1	事業名	50歳からのスマホ講座				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	一般（概ね50歳以上）				
4	開催時期	令和4年4月～8月・1月～3月 夜間				
5	事業の目的（意図）	私たちの生活に欠かすことのできないツールとなっているスマートフォン の操作知識を習熟することで、デジタル時代に対応できる地域内の人材育成を 図るとともに、地域社会の生活スキルの向上を目的とします。				
6	事業内容（手段）	スマホをまだ十分に使いこなせていない方（概ね50歳以上）を対象とした スマホ活用講座を開催することで、スマホの素朴な疑問の解決、初歩的な 使用方法や様々な機能の使い方をマスターします。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年（見込み）
		事業費	千円	- 千円	- 千円	- 千円
		募集定員	人	各回 10人	各回 10人	各回 10人
		応募人数	人	人	人	人
		参加人数（延べ）	人	32人	28人	35人
	特記事項	協力 愛媛CATV愛南局 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月の事業を中止しました。 R2年度-3回、R3年度-5回、R4年度-7回				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	スマホに対する知識は人それぞれレベルの違いが大きく、スマホの機能は多岐に渡る上、参加者の興味や関心が不明な点が多く、テーマを決めることが難しいです。				
9	改善案	全8回のうち、50代や60代向けの新しいアプリ操作方法なども1～2回実施できないか講師と相談します。高齢者は、過去に実施した内容でも初めて習ったような反応があり、繰り返しの必要性を感じます。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

参加者のレベルにあわせた事業内容としています。スマホは生活する上で欠かすことができないツールとなっていることから、高齢者を中心にした地域住民の情報化の向上のため、引き続き実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.7

1	事業名	花いっぱい運動				
2	開始年度					
3	対象	一般				
4	開催時期	毎年2回（6月～7月頃、11月～12月頃）				
5	事業の目的（意図）	地域のボランティア団体が環境美化活動として、県道等花壇の管理を行う。				
6	事業内容（手段）	花の引き上げと花植えを（年2回）行い、水やりや草引きは随時行う。節崎老人クラブ、馬瀬老人クラブ、深泥青年部、平城商店街、非営利法人こころ、愛南町シルバー人材センター（6団体）				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	619千円	618千円	618千円	656千円
		募集定員	- 人	- 人	- 人	- 人
		応募人数	- 人	- 人	- 人	- 人
		参加人数（延べ）	120人	147人	169人	168人
	特記事項					

■次年度に向けて(方針)

8	課題	前回の運審委員のご意見により、今年度から深泥青年部と御荘中の園芸部員との花植えを予定しましたが、雨天や学校との日程調整が難しく実施できていません。				
9	改善案	次年度は、御荘中学校と早めの日程調整をします。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

高齢化等に伴い、これまで活動していたグループの実施が困難となる場合に、新しいグループに主事が働きかけ実施するなど、事前に状況把握をしながら対応するよう努めます。また、中学生に花植えの実施協力を呼び掛けるなど、中学校との連携を図りながら取り組んでいきます。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.8

1	事業名	ハンドメイド教室「絵手紙」「絵手紙体験（新規）」				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	一般				
4	開催時期	6月12日（土）・10月9日（土）・体験12月3日（土）				
5	事業の目的（意図）	自分が感じたことを、感じたままに自由にかき、思いがいっぱいにつまった絵手紙を送って、ハガキを通じて相手と心のやりとりを行います。				
6	事業内容（手段）	<ul style="list-style-type: none"> ・ハガキ代などの材料費は個人負担。講師の指導を受け、絵手紙の技法や感覚を学びます。長年継続した絵手紙教室を令和3年度から自主活動に移行し、年2回は講師が指導します。 ・園児年長以上の初心者を対象に、絵手紙づくりを体験しました。 				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	22千円	45千円
		募集定員	人	人	20人	20人・15人
		応募人数	人	人	20人	人
		参加人数（延べ）	人	人	40人	43人
	特記事項	講師 山中慶子さん（宇和島市） 体験教室の講師は、山中慶子さんとさくら会代表の用土すみ子さん				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	高齢者からこれからの趣味として習いたいと申し込みがありましたが、子どもが多く参加したことに抵抗を感じて帰られました。				
9	改善案	運営審議会委員の意見により、初心者を対象に「絵手紙体験」を開催しました。自主活動するさくら会メンバーは講師の助手として5名参加し、新規メンバーの獲得につながりました。次年度は、体験会を一般対象と、子どもや保護者対象に分けて実施します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
			○			

※館長（館主）の意見

昨年度の改善案のとおり実施しましたが、令和4年度の実施において改善点が出てきました。令和5年度の改善案のとおり実施して行きます。

※審議委員会終了後の館長の意見

公民館事業マネジメントシート

NO.9

1	事業名	ハンドメイド教室「ハーバリウム」				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	一般				
4	開催時期	10月30日（日）10：00～11：30				
5	事業の目的（意図）	手作りの楽しさを体験し、自分で作ったものを大切にすることの喜びや大切な人へ贈る喜びを学びます。				
6	事業内容（手段）	瓶の中に、ピンセットを使って、花や植物（プリザーブドフラワー）やビーズなどを詰め込む。最後は専用のオイルをビンの中に静かに流し込んでフタをして完成させます。 参加料：1人500円				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	32千円	36千円
		募集定員	人	人	20人	20人
		応募人数	人	人	23人	20人
		参加人数（延べ）	人	人	23人	20人
	特記事項	講師：久保田みどりさん（フラワーアレンジメント愛南御荘） 助手：鎌田さん、久徳さん				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	毎年人気の高い事業ですが、ビンの中の花は枯れずに長持ちするため、ビンの形や花や装飾などが同じにならないような工夫が必要です。				
9	改善案	前年度は夏をイメージした材料を使い、今年度はクリスマスをイメージした材料で作りました。講師と相談して、ビンの中に入れる材料や開催時期を変えて、参加者が飽きないよう工夫します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

定員に対して申し込み希望者が多く、参加をお断りすることになったことは残念でしたが、住民のニーズが高い事業であることを認識したので、継続して実施します。また次年度には他の公民館でも同じ教室の開催を予定しており、参加者の分散により参加希望を満たすことができるのではないかと考えています。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.10

1	事業名	アーチェリー体験教室				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	小学4年生から6年生・中高生・一般				
4	開催時期	10月1日(土)9:30~11:30(御荘文化センター9時集合)				
5	事業の目的(意図)	弓で矢を放ち、的の中心により多くの矢を集めるスポーツのアーチェリーを体験し、初心者でも楽しみながら集中力と忍耐力を養い、参加者の親睦を図ることを目的に実施する。				
6	事業内容(手段)	旧西海中学校体育館で愛南アーチェリークラブの協力により、代表の埜下正さんの指導のもとアーチェリーを体験しました。 1時間程度練習した後、記録会を行い、1位~3位に賞品を渡しました。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	11千円	11千円
		募集定員	-人	-人	20人	20人
		応募人数	-人	-人	20人	9人
		参加人数(延べ)	-人	人	20人	9人
	特記事項	夏休み中のスポーツイベントの代替えですが、今年度は出前ボルダリング体験教室を実施したため、アーチェリーは10月に行いました。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	愛南アーチェリークラブの協力があれば、事業の継続ができます。				
9	改善案	愛南アーチェリークラブの協力は承諾をいただいています。参加者は後日、愛南アーチェリークラブで活動しました。次年度から御荘地域(菊川・長月・赤水・中浦)公民館の合同事業となります。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

普段行う機会が少ないアーチェリーを体験することで、新しいスポーツの普及と地域住民の体力増進を図るため、来年度も継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.11

1	事業名	平城貝塚再発見講座				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	小学1年生以上（高齢者を含む）				
4	開催時期	10月23日（日） 9：30～11：30（会場：御荘文化センター）				
5	事業の目的（意図）	地域の歴史遺産である平城貝塚のことを知り、古代人が使った道具に触れることで古代の生活を想像し、また体験学習を通して仲間と共に楽しく歴史を学ぶことを目的とします。				
6	事業内容（手段）	講話「どんぐりを食べた縄文人」 体験「どんぐりの粉を使ったどんぐりクッキー」「石器に触れてみよう」				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	12千円	14千円
		募集定員	－人	－人	各10人	16人
		応募人数	－人	－人	51人	10人
		参加人数（延べ）	－人	人	47人	8人
	特記事項	講師：生涯学習課の松本課長補佐、蓮本由美子さん、関根麻里さん 愛媛CATV愛南局による撮影。今年度は小学生のみ対象にしました。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	事業の継続には地域の協力者が必要です。 あいなん幼稚園で黒曜石を使った魚の解体の要望があります。				
9	改善案	生涯学習課の松本安紀彦さん（学芸員）や多田仁さんなど6名（女性4名）が、次年度から事業の企画や運営を担ってまいります。次年度は、ジビエや愛南町産の野菜を使った調理実習など企画しています。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

平城地域の歴史遺産である「平城貝塚」を地域の皆さんに広く知ってもらうことは、重要な公民館の役割と認識しているため、令和3年度から開始した事業です。事業の内容を考えながら継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

公民館事業マネジメントシート

NO.12

1	事業名	とろりや講習会				
2	開始年度					
3	対象	一般				
4	開催時期	10月中(2回開催)				
5	事業の目的(意図)	秋祭りで披露するとろりやを学ぶことで、伝統行事の継承を図る。				
6	事業内容(手段)	地域の指導者(2名)によるとろりやの講習 協力 平城五常会				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	24千円	-千円	-千円	-千円
		募集定員	-人	中止	中止	中止
		応募人数	-人	中止	中止	中止
		参加人数(延べ)	38人	中止	中止	中止
	特記事項	参加者の募集は、五常会から呼びかける。 今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	三密回避など感染症予防対策を徹底することが難しい。 2年間以上実施してないため、秋祭りの練り唄を経験した子どもたちがいない。				
9	改善案	地域の伝統行事に係る講習会であるため、行政協力員の意向にそって実施します。前年度の区長さんの要望により練習を早めに行い、講習会を2回増やして4回実施します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

新型コロナ対策のため秋まつりの中止もあり、3年続けて中止となったことで、経験者や指導者の減少など厳しい状況にあります。地域の伝統文化の継承を図るため、地区と共通認識のもと実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.13

1	事業名	口説き講習会				
2	開始年度					
3	対象	一般				
4	開催時期	7月から8月（2回開催）				
5	事業の目的（意図）	伝統行事（老人から子どもまでの世代間交流の場でもある盆踊り）の継承				
6	事業内容（手段）	地域の指導者（2名）による盆踊りの口説きの講習 協力 平城五常会				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	24千円	-千円	-千円	-千円
		募集定員	-人	中止	中止	中止
		応募人数	-人	中止	中止	中止
		参加人数（延べ）	55人	中止	中止	中止
	特記事項	参加者の募集は、五常会から呼びかける。 今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	三密回避など感染症予防対策を徹底することが難しい。				
9	改善案	地域の伝統行事に係る講習会であるため、行政協力員の意向にそって実施します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

新型コロナ対策のため盆踊りの中止もあり、3年続けて中止となったことで、経験者や指導者の減少など厳しい状況にあります。地域の伝統文化の継承を図るため、地区と共通認識のもと実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.14

1	事業名	グラウンドゴルフ・ミニバレーボール大会				
2	開始年度					
3	対象	平城公民館区住民				
4	開催時期	11月27日（日）8：30～11：00				
5	事業の目的（意図）	平城公民館区の住民の健康と体力保持増進並びに親睦を図ることを目的とし、グラウンドゴルフ・ミニバレーボール大会を開催する。				
6	事業内容（手段）	9月26日～：ナイターでミニバレーボール大会（平城小学校体育館） 11月27日の午前：グラウンドゴルフ大会（南レクサンパール運動場） 参加資格：平城公民館区内に住所がある者。 ミニバレーボールの部は、小中学・高校生は除く。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	75千円	－千円	－千円	19千円
		募集定員	－人	中止	中止	－人
		応募人数	－人	中止	中止	40人
		参加人数（延べ）	190人	中止	中止	40人
	特記事項	ミニバレーボール大会は、参加申込みが2チームのため中止しました。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	ミニバレーボール大会（ナイター）とグラウンドゴルフ大会を連続して実施してほしいとの意見がありました。 ミニバレーボール大会は、1チーム男女混合9人が集まらないことや、コロナの感染拡大を恐れて希望団体が減りました。				
9	改善案	開催時期は、感染拡大が比較的落ち着く11月に実施します。運営委員の意見により、グラウンドゴルフ大会は学生ボランティアに参加してもらうため、御荘中学校・南宇和高校と日程を調整します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

新型コロナ対策のため2年間実施できていませんでした。令和4年度はグラウンドゴルフのみ3年ぶりに開催できました。改善案及び、地区の意見を聞きながら、開催方法について検討します。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.15

1	事業名	平城公民館健康ウォーク ミニ四国巡り				
2	開始年度					
3	対象	小学生から一般				
4	開催時期	3月11日(土)9:00~15:00(ミニコース11:30まで)				
5	事業の目的(意図)	地域の皆さんの健康づくりと、地域巡りを行うことで緑あふれる平城地区を再発見し、自然と郷土文化の調和を広く知ってもらうことを目的に開催します。				
6	事業内容(手段)	観自在寺をスタートに、地域内に設置された八十八体のお地蔵さんを巡りながら、地域の景観や自然を再発見していきます。今年度は学生ボランティアを募集しました。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年(見込み)
		事業費	6千円	9千円	7千円	10千円
		募集定員	-人	15人	15人	20人
		応募人数	中止	24人	17人	20人
		参加人数(延べ)	中止	56人	39人	20人
	特記事項	過去8年間事業を中止していました。 御荘B&G海洋クラブとシニアシークラブが参加を募集したことで来年度から3月上旬~中旬に開催します。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	ここ2年は、12月上旬~11月下旬の日程で開催しましたが、グランドゴルフ大会などの日程調整や準備などと重なると困難になります。				
9	改善案	3月上旬に開催しました。貝塚区長さん・八幡野区長さんのご厚意で、集会所のスペースやトイレなど、お接待所や休憩場所として使用します。学生ボランティアの参加により、世代間の交流を図ります。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

昨年度の改善案のとおり実施しています。令和5年度も改善案のとおり実施していきます。

※審議委員会終了後の館長の意見

公民館事業マネジメントシート

NO.16

1	事業名	消火避難訓練・心肺蘇生講習				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	公民館利用者				
4	開催時期	11月24日(木)				
5	事業の目的(意図)	公民館利用者の防火意識を高めるため、公民館利用者と職員と一緒に自助・共助を踏まえた訓練を行う。				
6	事業内容(手段)	消火訓練、避難訓練、心肺蘇生講習、ミニ講話など				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	－千円	－千円	－千円
		募集定員	－人	10人	10人	10人
		応募人数	－人	－人	－人	－人
		参加人数(延べ)	－人	10人	12人	5人
	特記事項	協力 愛南町消防本部職員 R2-ハーモニカはまゆう、R3-オカリナ・クローバー、R4-姿勢を整えるヨガ				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	できるだけリアルな状況下で訓練を実施する必要があります。館長が初期消火中に、職員は利用者を誘導してテラスデッキから屋外へ速やかに避難したあとに通報しましたが、避難と通報は同時が良いと指摘されました。				
9	改善案	毎年グループを変えて、消火器の設置場所や避難経路等を知ってもらい、火災発生時に行動できるようにします。来年度からは、職員と利用者を含めて、火災発見の伝達、避難誘導、通報、初期消火を役割分担して訓練します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

公民館利用者に対する防火・避難意識の啓発は大切です。また、職員も定期的に訓練を行うことで、普段からの防災意識の向上とスキルアップを図って行きます。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.17

1	事業名	人権・同和教育学習会				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	一般				
4	開催時期	6月16日(木)・6月27日(月)				
5	事業の目的(意図)	地域住民の人権意識の向上のため、人権・同和教育に関する啓発を行います。				
6	事業内容(手段)	人権作品集「えがお」を朗読することで、小中高生の作品に関心をもって人権意識を高める。各グループの活動終了時間に、「えがお」の小中学生の作文や高校生の標語を朗読して、聞いてもらいました。冊子の必要な方へ配布しました。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	－千円	－千円	－千円
		募集定員	－人	20人	人	人
		応募人数	－人	人	人	人
		参加人数(延べ)	人	20人	27人	14人
	特記事項	R2年度-1回(絵手紙さくら会) R3年度-3回(ハーモニカはまゆう、深泥青年部、英会話教室) R4年度-2回(檳榔子俳句会、オカリナクローバー)				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	毎年発行する「えがお」の最新号を教材に、その中から2作品程度の作品を朗読するか決めるまでに時間を要します。毎年グループを変えて実施していますが、今年度で平日日中の活動グループは一巡しました。				
9	改善案	毎年グループを変えて、活動終了後に朗読しました。平日日中の活動団体は一巡したので、次年度は、地域づくり出前講座の後で実施します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

公民館における人権・同和教育の啓発活動は、地域住民の人権意識の向上のためにも重要な取組と位置付けていることから、継続して実施していきませんが、内容のマンネリ化を招かないような工夫が必要です。

※審議委員会終了後の館長の意見

公民館事業マネジメントシート

NO.18

1	事業名	地域づくり出前講座				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	一般				
4	開催時期	6月7日・7月25日・10月6日・1月12日・2月18日				
5	事業の目的（意図）	地域に根ざした公民館活動の充実を図り、身近な地域での学習活動を応援するため、平城公民館から離れた地域に対して、健康な体と心を育てる活動をはじめ、地域の実情や要望に応じた学習の場を提供して、地域人材の育成を目指します。				
6	事業内容（手段）	5人以上のグループに対して、公民館から講師等を派遣します。実施場所は周辺の集会所等を活用し、材料費等は参加者の負担とします。椅子ヨガ、ミュージックケア、お灸体験、フラワーアレンジメント作りを、長崎集会所・八幡野・馬場・深泥集会所で行いました。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年（見込み）
		事業費	千円	7千円	7千円	32千円
		募集定員	－人	－人	－人	－人
		実施回数（延べ）	－回	1回	1回	5回
		参加人数（延べ）	人	8人	6人	61人
	特記事項	対象地区 平山・長洲・長崎・貝塚・八幡野・和口・節崎・馬瀬・深泥（10地区）CATVの撮影等に協力してもらいます。R2-深泥青年部、R3-チーム馬瀬、R4-長崎サロン・おーいい元気かい・よりあい喫茶やたの・深泥青年部				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	事業説明を4月頃、御荘支所で開催される行政協力員総会の際に行う予定でしたが中止となり、区長宛に文書を郵送しました。何団体から要望が出るか予想ができません。				
9	改善案	実施した事業を公民館だよりに掲載したことやケーブルテレビで放送したことで要望が増えました。来年度の当初予算は6回分を要求し、増えれば予算を補正します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

公民館にとって、地域人材の掘り起こしは持続的な公民館活動の観点から重要です。これまであまり公民館事業に参加できなかった地域の皆さんを対象に、こちらから出向いて事業を実施することで生涯学習・文化活動の場を提供し、公民館活動の活性化を図ります。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.19

1	事業名	デジタルミュージック講座				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	中学生以上（R4年度は中学生と高校生が対象）				
4	開催時期	12月13日・12月27日・1月5日（全3回）				
5	事業の目的（意図）	スマホ・タブレット等で使える新しい電子音楽（無料アプリ）で、オリジナルの曲を作る方法を習得し、音楽の知識を深め、デジタル社会に対応できる人材育成を図ります。楽曲制作のスキル向上と作ることの楽しさや喜びを共有する仲間との交流を目的とします。				
6	事業内容（手段）	第1回：DJについて知る（参加希望者なし） 第2回：デジタルミュージックの歴史や音楽について講話 第3回：デジタル音源を使って曲作りを体験				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	22千円	3千円
		募集定員	－人	－人	10人	10人
		応募人数	－人	－人	6人	3人
		参加人数（延べ）	人	人	36人	3人
	特記事項	講師：石田啓介さん（DJ）、田中純樹さん（愛媛CATV愛南局長）				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	今年度は講師の要望により、募集対象を御荘中、城辺中、南宇和高校の全生徒に周知して申込みがなく、公民館主事が知り合いに声をかけましたが参加は非常に少なかったです。				
9	改善案	参加した中学生の保護者から、開催時期は5月か6月頃が良いというご意見がありました。南宇和高校の募集は、報道部・吹奏楽部・ビジネス部の顧問を通して斡旋してもらいます。日程は年2回に縮小します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
				○		

※館長(館主)の意見

無料音楽アプリを素材とした、公民館事業の新しい形として継続して実施します。事業として定着するまでには、まだ講師の要望と参加者の要望などとの摺り合わせなど、実施と改善の繰り返しが必要と思われます。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.20

1	事業名	親子料理教室				
2	開始年度					
3	対象	小学生親子				
4	開催時期	令和5年3月5日(日) 9:30~11:30				
5	事業の目的(意図)	親子で手作り料理の楽しさを体験し、愛南町産の食材について学ぶことで、学年を超えた交流や体験活動を通して子どもの健全育成を図る。				
6	事業内容(手段)	愛媛県の愛南生活研究協議会との合同事業で、愛南町の郷土料理を体験する。食材等は愛南生活研究協議会から支給する。ココアクッキーチョコボールと、おはぎを作ります。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年(見込み)
		事業費	42千円	38千円	22千円	16千円
		募集定員	40人	各回18人	10人	18人
		応募人数	18人	多数	15人	22人
		参加人数(延べ)	18人	44人	15人	22人
	特記事項	協力 愛媛県愛南農業指導班/講師 松本時子さん、本多美子さん(愛南生活研究協議会) H29-3回実施、H30-2回、H31-2回、R2-2回、R3-1回、R4-1回				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	バレンタインデー前の日曜日に開催することで、人気の高い教室ですが、郷土料理と一緒に作るためには時間配分を考えたメニューを考えることが、毎年悩ましいです。				
9	改善案	前回実施したアンケートで「マカロン」の希望が多かったが、おはぎと一緒に作るために調理時間が短い「ココアクッキーチョコボール」にしました。平城小学校の学校閉鎖が4日間あり日程を延期して行います。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

親子や友達同士での参加が多く、人気の高い事業のため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

公民館事業マネジメントシート

NO.21

1	事業名	平城公民館成果発表会				
2	開始年度	平成30年度				
3	対象	平城公民館利用団体				
4	開催時期	令和4年2月18日(土)・19日(日) ビデオ収録				
5	事業の目的(意図)	平城公民館を日頃から利用している団体の一年間の成果を発表する場を設けることで、利用者間の親睦と交流を行い、より一層の公民館活動の促進を図ることを目的としています。				
6	事業内容(手段)	ハーモニカ、オカリナ、マンドリン等の発表及び習字、手芸、生花、油絵、トールペイント等の作品展示をビデオ撮影して、ケーブルテレビで放送します。トールペイントは作業工程を撮影して視聴者に理解してもらいます。平城公民館を利用する12団体(ヨガや囲碁等を除く)のうち希望する8団体				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年(見込み)
		事業費	－ 千円	20千円	4千円	9千円
		募集定員	中止	21団体	21団体	12団体
		応募人数	中止	8団体	8団体	8団体
		参加人数(延べ)	中止	80人	中止	80人
	特記事項	収録後の作品は、館内に展示する場所を設けて来館者に見てもらえるようにします。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	展示作品や演奏発表の見学者が数名いました。撮影会に使わない部屋を通常利用する団体へ貸し出したため、駐車場が混雑し、収録時に他の音が入り込むなどのトラブルがありました。				
9	改善案	来年度は8月頃にアンケート調査して、実施時期や見学者の受け入れ等を検討します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

利用者が日頃から練習している成果を発表する場として、改善案のとおり、来年度も実施する予定です。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.22

1	事業名	御荘中スパルタスロンお接待				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	御荘中学生・御荘中学校教師等				
4	開催時期	12月3日(金) 7:40スタート				
5	事業の目的(意図)	公民館が掲げる活動目標の柱のひとつである「地域・学校との協働」の推進を図るため、平城公民館、中浦公民館及び中浦地区住民有志が合同で、御荘中学校が学校行事として実施するスパルタスロンに協力する。				
6	事業内容(手段)	【R3年度参考】お接待所の開設(場所:中浦公民館の駐車スペース付近)生徒や教員等にぜんざいを振る舞う(ぜんざいは、中浦ヘルシー教室のメンバー5人が作る)10時30分~11時30分頃の予定。御荘中学校PTA役員4人は、当日の配膳協力に参加する。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	-千円	-千円	-千円
		募集定員	-人	人	人	中止
		応募人数	-人	人	人	中止
		参加人数(延べ)	人	149人	174人	中止
	特記事項	材料調達は中浦公民館。学校との調整は平城公民館。 R2年度-参加者総数197人(西海・福浦・平城の合同) R3年度-参加者総数198人(中浦・平城の合同)				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	御荘中学校スパルタスロンのコースが毎年変わるため、その年のコースになる公民館や地域の方の協力が得られれば、実施できます。				
9	改善案	御荘中学校にコースを聞きいて、コースになる公民館の主事に相談して検討します。次年度が福浦コースであれば、福浦公民館で予算要求して実施する予定です。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

改善案のとおり実施を予定しています。公民館が掲げる活動目標のひとつである「地域・学校との協働」の推進を図るため、令和2年度から実施しています。この事業を契機に学校と公民館の連携が深まり、中学生の公民館事業への参加など、新たな交流が生まれることを期待しています。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.23

1	事業名	出前ボルダリング体験教室【新規】				
2	開始年度	令和4年度				
3	対象	小中学生・一般				
4	開催時期	令和4年7月31日（日）9：30～15：30（午前・午後を選択）				
5	事業の目的（意図）	愛南町で楽しむことのできないボルダリング（スポーツ）を、うわじまアウトドアスポーツクラブに壁の出前と指導をしてもらい、初心者でも楽しみながら、オリンピック種目にもなったスポーツを体験するとともに、参加者の親睦を図ることを目的に実施する。				
6	事業内容（手段）	中浦公民館と御荘文化センターでマイクロバスに乗車し、旧菊川小学校体育館で行いました。ホールド(石)が壁に埋め込んである板を体育館に2台設置して、午前と午後はそれぞれ2時間、一日体験は昼食（各自持参）を含めて6時間、指導者のもと活動しました。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	千円	17千円
		募集定員	人	－人	－人	30人
		応募人数	人	－人	－人	17人
		参加人数（延べ）	人	－人	人	16人
特記事項	菊川公民館(借上料)10千円、中浦公民館（運転手）10千円、総事業費37千円。壁の貸出しと指導は、うわじまアウトドアスポーツクラブ。平城・菊川・赤水・中浦の合同事業。会場は旧菊川小学校体育館。					

■次年度に向けて(方針)

8	課題	マイクロバスには8人乗車し、現地集合は6人でした。一日コースの申込は兄弟1組だけで、午後の方が参加が多くありました。夏休み中の体育館は暑かったです。				
9	改善案	来年度から御荘地域全公民館の合同事業となり、会場は長月小学校の体育館を、日程は10月頃に変更します。マイクロバスの運行経路や実施する時間帯は今後検討します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

新たなスポーツの紹介・体験であることと、参加した子供たちの感触も良好であったことから、今後定着すれば人気の高い事業となることが見込まれます。改善案のとおり継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

公民館事業マネジメントシート

NO.24

1	事業名	地域おこし協力隊コラボ事業【新規】				
2	開始年度	令和4年度				
3	対象	小学生から一般（高齢者も含む）				
4	開催時期	3月26日（日）延期				
5	事業の目的（意図）	地域おこし協力隊の特技を生かして、地域の人々と交流しながら体験活動を実施します。愛南町の食材を使い、料理の楽しさと栄養バランスの良い献立を学びます。				
6	事業内容（手段）	スパイスをたくさん使った本格的なカレー作りを体験します。付け合わせは、愛南町の野菜や果物を使います。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	千円	千円
		募集定員	－人	－人	－人	－人
		応募人数	－人	－人	－人	－人
		参加人数（延べ）	－人	－人	－人	－人
	特記事項	講師：関根麻里さん（地域おこし協力隊） 3月26日に予定したが、準備が間に合わなかったことや感染状況を考慮して中止にしました。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	講師の関根さんは、令和6年1月末まで地域おこし協力隊として活動します。今後は、関根さん以外の地域おこし協力隊の方に相談する必要があります。				
9	改善案	地域おこし協力隊の方の活動紹介や地域と交流できるよう、関根さん以外の地域おこし協力隊の方にこの事業に参加してもらい、次年度以降につなげたいと思います。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

地域おこし協力隊の方の特性や得意分野もありますが、次年度以降につなげていきたいと考えています。

※審議委員会終了後の館長の意見

--

公民館事業マネジメントシート

NO.25

1	事業名	こども工作教室体験会・おやつ交流【新規】				
2	開始年度	令和4年度				
3	対象	小学生				
4	開催時期	令和5年1月15日(日) 13:30~15:00				
5	事業の目的(意図)	子ども対象の工作・おもちゃ作りを体験して、ものづくりの楽しさや化学の不思議さを学ぶ。子どもの興味・関心のある工作を把握して、来年度実施する公民館事業につなげる。				
6	事業内容(手段)	講師が用意した空気砲を体験し、紙ブーメランとぶんぶんゴマを作って遊びました。見本のおもちゃを紹介して、来年度赤水公民館での実施を予告しました。しおかぜの会がホットケーキを作り、小学生は飾りつけをして持ち帰りました。				
7	指標	実施年度	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
		事業費	千円	千円	千円	6千円
		募集定員	人	- 人	- 人	20人
		応募人数	人	- 人	- 人	8人
		参加人数(延べ)	人	- 人	人	8人
	特記事項	工作の講師-埜下征男館長 調理の講師-中田幸さん 赤水公民館(消耗品費)17千円、総事業費23千円				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	(経緯) 平城小学校3年生~5年生を対象にしたアンケート調査で一番希望の多かった「おもちゃ作り」を企画・立案し、赤水公民館の子ども対象事業を充実させるため、お試して実施協力しました。				
9	改善案	(方向性) 平城公民館は25事業のうち子ども対象事業は13事業あり、十分満たされているため、次年度以降この事業は中止します。代わりに、赤水・中浦・菊川公民館がこの事業を継続していきます。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
						○

※館長(館主)の意見

今年度は子ども工作教室開催の見本及び子供たちへのデモンストレーションとして3館合同事業として開催しました。改善案のとおり、次年度以降平城公民館ではこの事業は行いませんが、ほかの公民館において事業を継続していきます。

※審議委員会終了後の館長の意見

--